

東京歴史科学研究会

◇◆◇三月例会◇◆◇

東京都墨田区八広近辺の現場を歩く —差別をめぐる歴史と現在、ともに生きること—

2012 年度の 3 月例会では、東京都墨田区八広近辺の歴史現場を歩きます。東京の下町地域を歩きながら、近現代の日本の都市においてどのような差別が形成され、そしていま人権をめぐるどのような課題が存在しているのかを学ぶことができればと思います。

差別や貧困の状況のなかでなお、人びとは生きてきました。今回の例会では、そんな民衆の暮らしの営みと共に、地域レベルでの具体的な教育実践や市民運動の現場と出会うことで、いまこの地で「ともに生きる」という事の意味を、あらためて考えるきっかけにしていきたいと思います。

【日時】2013 年 **3 月 9 日**（土）10:00～18:00 ※要事前申込

【訪問予定地】

東京朝鮮第五初中級学校

東京・墨田地域にある朝鮮学校を訪問し、在日朝鮮人の民族教育の現場において「いまどのような課題があり、また地域や市民とのつながりの中で共に出来ることはなにか」などをお聞きする予定です。

産業・教育資料館きねがわ

「皮革と油脂のまち」である木下川（きねがわ）地域の歴史と現在、そしてその中で続けられてきた人権教育のありかたなどについて学ぶことを予定しています。

関東大震災時 韓国・朝鮮人殉難者追悼之碑など

関東大震災被災化における朝鮮人虐殺に関する歴史を現場で学びます。荒川放水路旧四ツ木橋付近での虐殺現場を訪問しつつ、この痛ましい歴史を記憶し、追悼し続けている市民の思いをお聞きする予定です。

【集合】京成押上線八広駅改札口前

【参加費】500 円（資料代） ※昼食はご持参ください

【注意事項】

◎配布資料や見学先のスペースの都合上、参加者は 30 名程度までとなります。参加希望の方は**3月1日まで**に、例会申込用メールアドレス (torekiken.reikai@gmail.com) または当会 FAX (03-3949-3749) に氏名・連絡先を明記し、お申し込みください。

◎荒川河川敷を含め、八広駅近辺を一周いたします。歩きやすい服装でご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。